

## レタスの菌核病が多く発生しています

圃場をよく観察し、適切に防除を行って下さい。

### [現在の状況]

- ① 10 月上旬現在、菌核病の発病株率は 2.9% (平年 0.5%)、発生地点率は 41% (平年 22%) で、いずれも過去 7 年中 1 位と平年より高い (表 1)。
- ② 多発生圃場 (坂東市の 9 月上旬定植の作型) では、発病株率が 14% である。
- ③ 9 月 21 日の台風 15 号により、坂東市においては日降水量 113.5mm の大雨があり、風雨により発病が助長されたと推察される。

表 1 レタスにおける菌核病の発生状況<sup>1)</sup>

時期	発病株率 (%)			発生地点率 (%)		
	本年値	(順位) <sup>2)</sup>	平年値	本年値	(順位) <sup>2)</sup>	平年値
9 月下旬	0	(2-11) <sup>3)</sup>	0.02	0	(2-11)	1
10 月上旬	2.9	(1)	0.5	41	(1)	22

- 1) 調査圃場は、県西地域 (坂東市、境町) の 18 圃場。
- 2) 9 月下旬は過去 11 年間、10 月上旬は過去 7 年間の順位を示す。
- 3) 2-11 は 2 位から 11 位まで同じ数値であることを示す。

### [防除対策]

- ① 菌核病の発生を認めた場合は、菌核が形成される前に発病株を適切に処分する。
- ② 多発すると防除が困難となるので初期防除を徹底する。また、降雨が続く場合には適宜防除を実施する。
- ③ 薬剤散布は、薬液が葉裏や株元にも届くよう丁寧に行い、薬剤を散布する際は収穫前日数、使用回数に十分注意する (表 2)。
- ④ 排水不良等は発生を助長するので、排水対策等を行う。

表 2 レタス菌核病に登録のある主な農薬 (平成 23 年 10 月 1 日現在)

薬剤名	希釈倍数(倍)	収穫前日数－ 剤の使用回数	有効成分－ 有効成分の総使用回数
スミブレンド水和剤 <sup>*</sup>	1,000～2,000	7-5	ジエトフェンカルブー5 プロシトゾー5
スミレックス水和剤 <sup>*</sup>	1,000～2,000	7-5	プロシトゾー5
カンタスドライフロアブル	1,000～1,500	14-1	ボスカドー1

- <sup>\*</sup> スミブレンド水和剤とスミレックス水和剤は、非結球レタスには農薬登録がないので注意する。  
○ 農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法、注意事項等を確認のうえ、周辺作物への飛散に留意して使用する。